高等学校 令和７年度（１学年用）　教科　地理歴史　科目　地理総合

教　科：　地理歴史　科　目：　地理総合　単位数：　2 単位
対象学年組：　第　1 学年　1 組　～　7 組
教科担当者：　（１組：　西田　）　（２組：　佐々木　）　（３組：　田鍋　）　（４組：　田鍋　）　（５組：　西田　）　（６組：　佐々木　）　（７組：　佐々木　）
使用教科書：　（　「地理総合」（東京書籍）・「新高等地図」（東京書籍）　）
使用教材：　（　独自作成ワークシート・スマートスクール端末・Ｃｌａｓｓｉ　）
科目の目標

【知識及び技能】　地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域や地球の課題への取り組みなどを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】　地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりする。

【学びに向かう力、人間性等】　地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、地域や地球の課題への取り組みなどを理解している。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に向けて構想したりしている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
①　確認テスト ②　小テスト ③　授業内の発表	①　確認テスト ②　提出物の内容 ③　授業内の発表やワークシートの記述	①　学習に取り組む状況・振り返りの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）１組	２組	３組	４組	５組	６組	７組	配当時間	評価
1学期	4	○地図にはさまざまな種類が存在することについて理解する。 ○地球を平面の地図では正確に表現できないことを理解し、地図の種類に応じた用途の多様性を考察する。 ○様々な地図の種類を学ぶことで世界について興味をもち、世界の国々に関心を持つ。	・地球儀と世界地図 【丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	
	5	○地球の緯度の違いによる変化と経度の違いによる変化を理解する。 ○地球上には常に昼と夜が存在することを理解し、時差の影響やそれに対する工夫を考察する。 ○時差を求めることができる。	・緯度・経度 【24時間、地球は眠らない。】 ・時差 【時差を求める練習問題】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	
	6	○日本の位置と領域について理解する。 ○排他的経済水域について理解し、その重要性について考察する。 ○調べ学習を通して、日本の特徴や魅力を理解し、表現する。	・日本の位置と領域 【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ？】 ☆レポート課題 【日本の都道府県を調べよう。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	
	7	○多様な地図が生活を便利にしていることを理解し、地図利用のさまざまな可能性を考察する。 ○主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けるのかを考察する。	・地図の種類 【地図を使わない人は、 ほとんどいない。】 ・主題図の種類と読み取り 【このテーマ、どんな地図で表すべきか。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								8	
2学期	9	○交通手段の多様性とその長所・短所について理解する。 ○交通手段の発達による生活の変化を考察する。 ○通信情報技術（ＩＣＴ）の発達について理解する。 ○通信網の発達による生活の変化と生じた課題について考察する。	・交通の発達 【地球は、 どんどん小さくなっている？】 ・情報通信の発達 【世界中が、ネットでつながりはしたけれど。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	
	10	○気温や降水量に地域差が生じる原因を理解し、それらが衣食住に与える影響を考察する。 ○熱帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解する。 ○熱帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考察する。	・多様な気候とその分布 【なぜこれほど違う？暑さ、寒さ、雨の量。】 ・熱帯の人々の暮らし 【強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は？】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								8	
	11	○乾燥帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解する。 ○乾燥帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考察する。 ○温帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解する。 ○温帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考察する。	・乾燥帯の人々の暮らし 【雨が少ない！どうやって水を得る？】 ・温帯の人々の暮らし 【クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	
	12	○亜寒帯・寒帯の各気候区における気温・降水量、風などの気候要素の特徴について理解します。 ○亜寒帯・寒帯における土壌や植生の特徴を理解し、人々の生活や文化に与える影響を考察する。 ○調べ学習を通して、世界の気候や生活の特徴や魅力を理解し、表現する。	・亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 【長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは。】 ☆レポート課題 【世界旅行プランを考えよう。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	
3学期	1	○環境問題の発生や森林の減少、砂漠化が人間の活動によって引き起こされていることを理解する。 ○生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考察する。	・地球環境問題（１） 【大気と海に、何が起きているのだろう。】 ・地球環境問題（２） 【森林減少と砂漠化、その原因を探る。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								8	
	2	○再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、再生可能エネルギーの割合が拡大しない要因を考察する。 ○18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解する。 ○発展途上国が抱える人口問題を理解し，その要因・影響を考察する。	・化石燃料から再生可能エネルギーへ 【地球を、「電池切れ」にさせないために。】 ・発展途上国の人口問題 【人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろう。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	
	3	○先進国において少子高齢化が進む背景とその影響について理解する。 ○難民が発生する原因や、民族問題の背景について考察する。 ○調べ学習を通して、ＳＤＧｓが定められた背景や取り組みを理解し、表現する。	・先進国の人口問題 【若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？】 ・民族問題・難民問題 【くり返す対立で、国を追われる人々がいる。】 ☆レポート課題 【ＳＤＧｓについて考えよう。】	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・授業内での発表 ・ワークシートの記述 ・学習に取り組む状況 ・振り返りの状況								6	

高等学校 令和７年度（２学年用）　　教科　地理歴史　　科目 歴史総合

教　科：　地理歴史　　科　目：　歴史総合　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　1 組～　7 組

教科担当者：（１組：佐々木　）（２組：佐々木　）（３組：田鍋　）（４組：田鍋　）（５組：伊藤　）（６組：伊藤　）（７組：田鍋　）

使用教科書：（ 清水書院『私たちの歴史総合』　　）

使用教材：（ 清水書院『私たちの歴史総合　教科書準拠ワークノート』，スマートスクール端末・プリント・Classi　　）

科目の目標

【 知　識　及　び　技　能 】 歴史に関わる諸事象に関して、日本を含む世界各国のこれまでのあゆみと相互の影響、現代世界との関連などを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】 歴史に関わる事象の意味や意義，国どうしの特色や相互の関連を，位置や分布，歴史的背景などに着目して，多面的・多角的に考察して伝えることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察に追究し、自分事として解決しようとする。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
歴史に関わる諸事象に関して、日本を含む世界各国のこれまでのあゆみと相互の影響、現代世界との関連などを理解する。	歴史に関わる事象の意味や意義，国どうしの特色や相互の関連を，位置や分布，歴史的背景などに着目して，多面的・多角的に考察して伝えることができる。	歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を多面的・多角的な考察に追究し、自分事として解決しようとする。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
確認テスト 授業内の発表や小テスト	確認テスト 提出物・発表等の内容	学習に取り組む状況 ふりかえりの状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日）							配当時間	評価
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組		
1学期	4	歴史的な見方・考え方を活用しながら、18 世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	・世紀と年号・元号 ・近世の日本と世界 ・日本の開国とその影響 ・18世紀の中国とアジア貿易	○		○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	
	5	産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	・18世紀のイギリスとアジア・アフリカ ・産業革命による経済発展と社会の変化 ・世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 ☆調べてパワポ！①		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	
	6	歴史的な見方・考え方を活用しながら、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。	・二つの市民革命と近代民主主義社会の成立	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	
	7	○国民国家の形成の背景や影響などに着目して，主題を設定し，アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現している。 ○端末を活用し、1学期のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・国民統合とナショナリズム ☆1学期のまとめ		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								5	
2学期	9	18 世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向，日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に，歴史的な見方・考え方を活用しながら，政治変革の特徴，国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，立憲体制と国民国家の形成を理解する。	・明治維新期の日本と世界 ・近代国家への移行	○		○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	
	10	○帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 ○日清・日露戦争などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ○端末を活用し、２学期のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・列強による帝国主義 ・帝国主義がアジア・アフリカにもたらしたもの ・日清戦争とその影響 ☆２学期のまとめ①		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								8	
	11	○日清・日露戦争などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ○第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、を多面的・多角的に考察し、表現することを通して、総力戦と第一次世界大戦を理解する。	・日露戦争 ☆調べてパワポ！② ・第一次世界大戦	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	

	12	○第一次世界大戦後の国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察する。 ○端末を活用し、２学期のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・社会主義体制 ・国際協調体制 ☆調べてパワポ！③ ☆2学期のまとめ②		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								5	
3学期	1	各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。	・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・日本の大陸進出	○		○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	
	2	○アジア太平洋戦争の展開を基に、第二次世界大戦の性格と惨禍を考察する。 ○地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	・第二次世界大戦 ・アジア太平洋戦争 ・戦後世界の新たな枠組み ☆調べてパワポ！④	○	○		・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								5	
	3	○日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 ○冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 ○端末を活用し、1年間のまとめを行うことで、既習事項の整理を行う力と、表現力を身につける。	・敗戦後の日本とアジア ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国 ・冷戦下の地域紛争 ・戦後の日本とアジア諸国との関係 ☆1年間のまとめ		○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・ふりかえりの状況 ・学習に取り組む状況								6	

高等学校 令和7年度（３学年用）　　教科　　地理歴史　　科目　　日本史探究

教　科：　地理歴史科　　科　目：　日本史探究　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　　3 学年　1 組～　7 組

教科担当者：　（1組：伊藤　）（2組：落合　）（3組： 西田　）（4組：伊藤　）（5組：落合　）（6組： 落合　）（7組：西田　）

使用教科書：　（ 実教出版『精選日本史探究』　）

使用教材：　（ 実教出版『精選日本史探究　演習ノート』，プリント．スマートスクール端末　）

科目の目標

【知　識　及　び　技　能】　我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力．判断力．表現力等】　我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力．人間性等】　我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けられたか。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養えたか。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められたか。

評価方法と割合：

【知識・技能】　全体の３分の１	【思考・判断・表現】　全体の３分の１	【主体的に学習に取り組む態度】　全体の３分の１
確認テスト 小テスト	確認テスト 提出物の内容 発表・レポート等	学習に取り組む状況

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード（指導項目・内容）	知	思	態	評価の方法	実績（実施日） 1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	配当時間	評価
1学期	4	**【オリエンテーションと室町時代まで】** ・室町時代以前の歴史を理解する。 【幕藩体制の展開】 ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色について理解を深める。	・オリエンテーション ・旧石器～室町後期 ・江戸幕府の支配のしくみ ・江戸時代の対外政策 ・幕府政治の転換	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								6	
	5	**【幕藩体制の展開】** ・法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色について理解を深める。	・交通網の発達と都市の繁栄 ・徳川吉宗・田沼意次と財政問題 ・寛政の改革と欧米諸国の日本接近	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								8	
	6	**【大日本帝国の展開】** ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換について理解を深める。	・開国 ・倒幕と「ええじゃないか」 ・明治維新 ・文明開化 ・富国強兵	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								8	
	7	**【大日本帝国の展開】** ・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化に着目して、対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換について理解を深める。	・国境の画定 ・自由民権運動 ・大日本帝国憲法	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								5	

2学期	9	**【大日本帝国とデモクラシー】** ・日清日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容について考察する。	・日清戦争 ・1900年代前後の世界と東アジア ・日露戦争 ・社会問題と地域社会	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								8	
	10	**【大日本帝国とデモクラシー】** ・日清日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容について考察する。	・大正デモクラシー ・第一次世界大戦と日本 ・資本主義の成長 ・改造の時代 ・植民地	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								9	
	11	**【アジアの戦争と第二次世界大戦】** ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容について理解を深める。	・普通選挙と治安維持法 ・大日本帝国の選択肢 ・満州事変とモダニズム	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								9	
	12	**【アジアの戦争と第二次世界大戦】** ・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容について理解を深める。	・日中戦争と総力戦 ・アジア太平洋戦争 ・敗戦	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								7	
3学期	1	**【現代日本社会の形成と展開】** ・占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興を基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係，現代の政治や社会の枠組みについて理解深める。	・世界の中の日本占領 ・占領政策と日本国憲法 ・朝鮮戦争 ・日米安保体制 ・高度経済成長	○	○	○	・確認テスト ・小テスト ・提出物の内容 ・学習に取り組む状況								5	